



野田キャンパス新7号館



野田キャンパス 新7号館1階 談話室

【トピックスー P2・P3】

大村智先生を
ふるさと萑崎を訪ねる

エピソード① 修士落第の幸運

エピソード② 理大助教授の席が空かなかった

東京理科大学
Since 1881
140th
Road to 2021

Contents

- | | |
|-----------------------|------------|
| 4 東京理科大学 理窓会増測会長 新年挨拶 | 16 卒業生だより |
| 5 東京理科大学 本山理事長 新年挨拶 | 19 研究室紹介 |
| 6 東京理科大学 松本学長 新年挨拶 | 20 大学トピックス |
| 7 理窓会トピックス | 23 〈新連載〉 |
| 9 関連団体・諸会だより | 研究所を訪ねて |
| 12 支部だより | 24 年賀広告 |

大村智先生を ふるさと韮崎に訪ねる

「韮崎市の生家からの風景を眺めると、詩人の大岡信先生は、『眺望は人を養う』と言われたが、正に私は恵まれた山梨の大自然の中で育ったとつくづく感じる。」

大村先生は、山梨県人会連合会創立70周年記念講演「私の研究と社会貢献」で生家の周りの自然環境について、上記の様に述べられている。



2019年9月7日に大村先生を韮崎の生家にお訪ねした時、正に山梨の大自然を眺望する生家で大村先生は、東京理科大学理窓会からの訪問者をお迎え下さった。先生は「私の研究と社会貢献」の講演から、理窓会員に向けて、幾つかのお話をしてくださった。

1958年山梨大学を卒業後、都立墨田工業高校定時



制に5年勤務し、教員を続けながら東京教育大学の聴講生を経て東京理科大学の修士課程、そして山梨大学で助手を2年した後、1965年北里研究所へ。卒業後8年



目ながら学卒と同じ待遇(技術補)で、黒板消しから始まるという勤務で今日に至った訳です。その間幾つかの失敗があったが、結果的には、その失敗が大きな成功へと導いてくれた。

エピソード① 修士落第の幸運

高校教師時代に、昼間働きながらも勤勉な生徒たちに心打たれ、生徒に負けぬよう勉強せねばと思い立ち、東京教育大で中西香爾先生に師事すると、その先生から東京理科大学の都築研究室を紹介され、1960年理学研究科修士課程に、1963年同修了。その時1年落第したことが後々の研究人生に役立った。修士課程に3年かかった理由は、1年目で取り組んだ実験(界面活性剤に関する研究)が、横浜国大・篠田耕三教授が同じテーマで先に論文を発表され、そのため2年目からオキシ酸分子内の水素結合に関する研究に変更したため。先生いわく、理科大修士で1年落第したことがなにより幸運だった。この落第のおかげで、化合物の構造を決めるのに重要な情報を提供する、日本に導入されたばかりの装置NMRに精通することができ、その後の北里研究所で抗生物質の研究に入り色々な構造式を決めることが出来たので、あっと言う間に世の中に認められる研究者になる事が出来た。



大村先生生家の前で参加者集合写真

エピソード② 理大助教授の席が空かなかった

山梨大学でワインやブランデーの研究とともに微生物を研究していたところ、理科大薬学部山川研究室の助教授に空きがあるとの情報で直ぐに山梨大に辞表を出したが、空席になるはずの理科大助教授の件は急に空かないことになり、新卒を募集していた北里研究所に大学卒業8年目だが学卒として入所出来た。その人物が将来北里研究所を救うことになるのだから、世の中は不思議なものである。

【参加のメンバー 総勢40名】

大村先生の理大時代の同窓生6人 大村先生の教え子9人 理窓会山梨支部8人 理窓会現役員・会員 17人



薬学部の教え子とその当時の教科書を持って

【理窓会員とのふれあい】

ご自身で設計されたご自宅の庭、美術館、温泉、蕎麦屋をご案内頂いた。

大村美術館(館長 大村 智)には40年以上かけて蒐集してきた美術品を多くの人と共有したいとの思いから、2007年に私設美術館として開館し、翌年韮崎市に寄贈された。

大村智博士のノーベル賞受賞と当館10周年を記念して大村智記念室を開設。博士のスポーツマンとしての一面や、科学者としての足跡、個人美術コレクションを展示している。



上:大村美術館

下:大村先生ご自宅の庭



参加者の感想

【理科大時代からの親友・佐藤公隆さん】

大村文化の里に訪れ、先生のいつものような心温まるご講話、大村美術館、美味しいおそばなど、思い出に残りました。

【理窓会・山田顧問】

先生の研究業績のほかに北里研究所の経営、女子美術大学での活動などや、画家・彫刻家との交流など、壮大な大村ワールドに近づくことができたことに感謝いたします。

【薬学部卒業生】

学生時代、大村先生に教えていただいたときの教科書を持参したら、快くサインをしていただけ感激しました。「家宝」にします。

【理窓会・奥村山梨支部長】

わが故郷の誇り、大村ワールドにお越しいただき私たちも同席でき感激しました。支部活性化に結び付けていきたいと思ひます。

「100年に一度の大変革期」を意識して

東京理科大学 理窓会 会長 増淵 忠行



新元号が令和となり、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は台風や豪雨で多くの方が被災され大変な年でしたが今年は平穏な年になって欲しいと願いながら新年を迎えました。被害が広範囲に及んだ台風19号

では、想定外という言葉がよく出てきましたが私たちも身近なところで何が起るかを推測し、天災・人災に備えましょう。

100年に一度の大変革期

昨年秋、広島支部総会に伺った時、講演者の「現在は100年に一度の大変革期」と考え行動せねばならない、との言葉が強く耳に残りました。内閣府では「Society5.0で実現する社会」を推奨し、母校では全学生にデータサイエンス教育を始めております。

理窓会会長に就任し、1年と4分の3が過ぎ

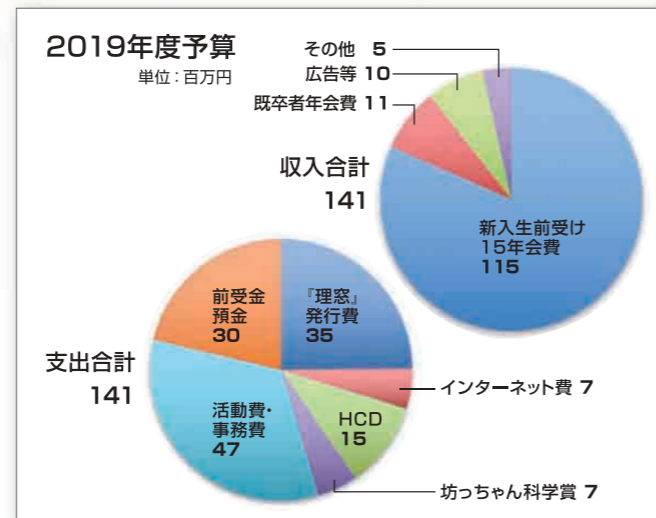
特に注力したことは個人情報管理の強化と予算管理を徹底し、いかに活性化するかです。個人情報保護法の制限と組織の活性化の間にはシーソーのような一見相反する力が作用していると思います。部分最適でなく全体最適の観点から考え行動したいものです。

私は工業化社会に生まれ育ちましたが、30歳を過ぎた頃から情報化社会に突入しました。そして現在では超スマート社会に移ろうとしており、指数関数的なスピードで変化しています。時代に適応した情報管理体制をしっかりと構築し活性化する、重い課題ですが大学の情報管理部門と連携し、一步一步前進しています。

予算管理について皆さんに改めて理解していただきたいと思ひます。収入の大半を入学時に大学に代理徴収していただいている「前受け15年会費」に頼っています。卒業生の皆さんには会誌『理窓』などを通し年会費納入をお願いしています。支出の面では、大きな比率を占めていた会誌『理窓』の編集・発送費用とホームカミングデーの開催を可能な限り「手づくり」とし、費用削減を図っています。

削減した費用の一部を支部の活性化などに生かしたいです。「既得権益」を主張する個人や団体等がありますが、限られた予算の中で収支バランスとお金の出

ころを考え、受益者負担も忘れないようにしたいものです。できる限りこまめに説明しご理解を得たいと考えています。2020年は新たな改革の年にいたします。



大村智先生の故郷を訪ね、新たに学んだこと

昨年9月、大村先生を訪ねました。本誌の2、3頁にその様子の一部を紹介させていただきました。大村先生は旧居を「蛭雪寮」と名付け、地元などに開放されていますが、先生が造られた葦崎大村美術館、温泉、そば処など大村先生の温かく深いお心で迎えていただき感動いたしました。地元を愛し「私は葦崎市の観光係長です」と気さくに私たちを迎えてくださいました。

先生の著書『ストックホルムへの廻り道 私の履歴書』や当日いただきました資料を拝見しますと、先生の研究業績のほか北里研究所の経営、女子美術大学での卒業生を大事に経営し、画家・彫刻家との交流を通して数々の美術品を集められたことを含め、ご自身の健康管理など「壮大な大村ワールド」に近づくきっかけになりました。今後とも機会を見つけ、みなさんと大村先生の里を訪ね、新たな刺激を受けたいです。

澤先生の教え

理科大を卒業し52年になります。この間何人もの先輩に可愛がっていただきましたが、特に澤芳昭先生(長く理科大の常務理事や理窓会の常務委員を務められました)から教えていただいたことが、今日私が母校・東京理科大学を考えるときの力になっています。「変えてはならないこと、変えなければならないこと、変えたほうが良さそうなこと」を、TPOを念頭に置き、「現場の隅々まで大切になされた澤先生だったらどうされるのかな」と考え行動しています。東京理科大学の卒業生であることに誇りを持ち、100年に一度の大変革期に、時代の変化に乗り遅れないようにしましょう。ご理解ご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

東京理科大学 理事長 本山 和夫



新年あけましておめでとうございます。理窓会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年は、いよいよ東京オリンピックが開催されるのは、実に

56年ぶりのことです。

前回の東京オリンピックが開催された1964(昭和39)年を振り返ってみると、戦後の復興から立ち直った我が国は、高度経済成長の只中にありました。経済成長率は高水準で推移し、1968年には国民総生産(GNP)で世界第2位を達成します。当時の本学は、オリンピックから遡ること4年前の1960年に薬学部を、その2年後に工学部を開設し、オリンピックを挟んだ10年間で、志願者数を1,800名から27,000名へと、約15倍にも増大させました。それは本学が、理工系人材に対する需要の高まりを背景に、日本の成長と歩みを同じくして、単科大学から理工系総合大学へと大きく発展を遂げた時代でした。

それから半世紀が過ぎ、我が国を取り巻く状況は大きく変貌しました。急速な少子高齢化の進行により、社会には様々な問題が山積し、経済発展を支えた大学の研究力、企業の技術力も、海外諸国と比較し相対的な低下が指摘されています。昨年モリチウムイオン電池を開発した吉野彰氏(名城大学教授・旭化成株式会社名誉フェロー)にノーベル化学賞が授与され、2000年以降の日本人受賞者は19名(一部受賞時点で日本国籍のない方を含む)となりましたが、その多くは30年以上前に見出された研究の成果が実った、いわば過去の遺産によるもので、昨今の日本の基礎研究が国際的に存在感を低下させていることは周知の事実です。

1990年代半ば以降、競争力を失った企業が次々に中央研究所を廃止し基礎研究から撤退しているなか、このような状況を打開し、再び日本の発展を支えるため、またSDGsに代表される地球規模の課題解決のため、大学、特に理工系大学に対する社会からの期待が一層高まっています。

私たちは、時代の要請に応える人材を輩出し、未来を照らす研究成果を創出し続けるため、3年前に“TUS

Vision 150”を策定し、今後15年の本学の方向性を示しました。更に昨年は、visionで描いた未来を実現するため、マイルストーンとなる2021年に向けた中期計画を策定し、本年もこの計画に沿って大学改革を着実に進めていきます。

まず、大学改革の柱の一つである「イノベーションハブとしての大学」を実現する学部・学科再編計画の第一弾として、来年2021年に、経営学部「国際デザイン経営学科」を開設し、長万部キャンパスで1年次教育を実施します。その後、理工学部国際系コースを新設し同コースの1年次も合流することで、長万部キャンパスを本学の国際拠点に生まれ変わらせる計画です。一方、基礎工学部の先進工学部への改組と学科の増設、理工学部の創域理工学部への改組と各学科の名称変更と続き、2025年の薬学部の葛飾キャンパスへの移転まで、5年間にわたり再編を実施していきます。

また、学部・学科の再編に際しては、各キャンパスの特徴を明確化しキャンパス整備を行っていく計画です。具体的には、神楽坂キャンパスは都心立地を生かし、データサイエンス・AI分野の充実などサイエンスの拠点として、野田キャンパスは広大な立地を生かし、理工学部を中心としたリサーチの拠点として、葛飾キャンパスは工学部、先進工学部、薬学部の連携によりイノベーションの拠点として整備し、世界から研究者・学生の集う世界レベルの研究拠点を構築します。

既に理工学部創設50周年を期に一昨年よりスタートした野田キャンパスの再構築も継続しています。昨年は正門に向かうアプローチのリニューアル工事が完成し、分野横断型の交流拠点となる新7号館も竣工しました。今年はフレキシビリティの高い実験空間と学生が自由に使える共用部を特徴とした新実験棟も竣工する予定です。その後には、薬学部受け入れに向けた葛飾キャンパスのⅡ期工事、神楽坂キャンパスの再構築も順次進めていきます。

このように、本学の持つ高度かつ多様な力を最大限に発揮でき、SDGsの達成やSociety 5.0の実現に大きく貢献できる学びと研究の場を構築していきます。来年迎える140周年、更に2031年の創立150周年に向けて、ソフト・ハードの両面で改革を推進し、皆様の母校である東京理科大学が、名実ともに“世界の理科大”を実現し、“Building a Better Future with Science”の精神のとおり、よりよい未来に貢献すべく、教職員一同、努力してまいりますので、同窓の皆様におかれましても、一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

東京理科大学 学長 松本洋一郎



理窓会の皆様、明けましておめでとうございます。学長に就任して2度目の新年を迎えるに際し、これまでの取り組みを真摯に振り返るとともに、次なる飛躍に向けて挑戦するべく、決意を新たにしています。

本学は創立以来、理学の普及を建学の精神として、自然と人間の調和的かつ持続的な繁栄への貢献をめざす教育・研究を行って参りました。これは2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標:SDGs」にも通ずるものです。実力主義の伝統を堅持し、幅広い教養教育と、基礎から最先端までの体系的な専門教育を行うことにより、豊かな人間性を備え、国際的な視野を持つ技術者、科学者、そして理数系教育者を輩出しており、各方面から高い評価を得ています。

現在、社会からの様々な要請が顕在化しており、国際性、多様性、外部との連携、ガバナンスの強化により、機動性を活かし、教育の質の確保、柔軟な教育・研究の推進・高度化を行うことが必要となっています。その為には、不断に外部の意見を取り入れ、「社会の公器」として、透明性を高め、説明責任を果たすと同時に、真の産官学連携を行い、それらを着実に執行して行くことが必要です。

一方、大学は、自律した個人の集団で、その自律性こそが学術の発展には不可欠であることを、歴史の教訓から学んでいます。各構成員が自由闊達に活動できる場を構築し、自律分散的に生まれてくる研究教育成果を協調させ、社会的価値とするべく、本学が持つ多様性を活かそうと、様々な仕組みを構築して参りました。それらの取り組みと今後の展開について紹介します。

まずは「データサイエンス教育プログラム」の全学導入です。現代社会の基盤技術になりつつある人工知

能に関連した教育・研究の推進には、社会からの強い要請があり、大学にとっては喫緊の課題となっています。本教育プログラムは、理工系総合大学のスケールメリットを活かし、すべての学生がデータサイエンスに関する授業科目を履修することを可能にした学部横断型プログラムで、数理統計、機械学習、アルゴリズムなどのデータサイエンスに係る知識・技術をリテラシーとして習得することを目的としています。一定の履修条件を満たすと、認定証が付与される、ユニークなプログラムです。次に「全学的教養教育の推進」です。昨年度設立された「教養教育センター」を中心に全学教養教育推進プロジェクトを展開し、特に、教育の国際通用性を高めるべく、大学院英語コース設置、科目ナンバリング制の導入を計画しています。最後に「リカレント教育」の推進です。今年度から薬学研究科医療薬学従事者向け博士課程コースを開始し、来年度には工学部建築学科夜間主コース開設などを予定しています。

研究面では、「データサイエンスセンター」の設立です。本学には、理工系総合大学として他大学に類を見ない多くの数学、数理統計学の研究者が活躍しており、数理科学の研究とAIの開発研究の推進に適しています。特にAIと人間との協調・協働においては、数学がAIの制御をはじめ、学習データや推定結果の信頼性を高めるために必要不可欠で、高度な現代数学の能力が決定的な意義を持ちます。そこで「データサイエンスセンター」が今後、データサイエンス研究の戦略的推進に大きな役割を果たすことを期待しています。次に「学外研究機関との連携強化」です。神楽坂、葛飾、野田の地の利を生かしての企業や他の研究機関との連携、また、グローバルイノベーションのハブとなるべく、多くの研究機関や企業との連携を進めています。昨年度から今年度にかけて、東京大学、産業技術総合研究所、理化学研究所、自治医科大学、第一生命保険などと教育・研究に係る包括連携協定を締結し、共同研究を開始しています。加えて、教育力・研究力を強化し本学の社会的価値を向上させるために、「企業との大型共同研究の推進」、「国の大型予算事業の獲得」、「包括連携協定の活用」などの検討を進めています。本学の研究成果を社会実装につなげ、多様な外部資金の獲得が期待される所です。

今後も、伝統ある「実力主義」の学風を継承し、教育・研究において国際競争力を持つ「世界の理科大」となるため、透明性の高い大学運営を行い、教職員一丸となって様々な諸施策に取り組んで参りますので、関係各位のご支援をお願い申し上げます。

理窓会トピックス

第14回 ホームカミングデー2019開催される 10月27日神楽坂キャンパスに 3000人の卒業生が参加

10月27日(日)に神楽坂キャンパスでホームカミングデー2019が開催され、同窓生とご家族、学生、一般市民の方々約3000人が参加してくださいました。当日は、第11回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト、キッズ・サイエンス・ライブショー、サイエンス夢工房、数学体験館展示など東京理科大学の建学の精神である「理学の普及」を体現する催し物が実施されるとともに、理科大教員による講演会、理窓会関連団体やこうよう会のご協力による出店、イベントなどが開催されました。今回の

ホームカミングデーのテーマが「自ら参加するHCD～Remember 理科大～」ということもあり、卒業50周年記念祝賀懇親会、卒業40・30・20・10周年懇親会、同窓出合いの広場(共同利用会場)、23件に及ぶ研究室やクラブ等のOBOG会・同窓会が開催されるなど、神楽坂キャンパス全体が同窓出合いの広場の雰囲気にも包まれ大いに盛り上がりました。開催にご協力いただいたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

HCD実行委員長 矢部 博

式典・講演会

卒業50周年記念祝賀会

本山理事長挨拶



記念パッチ授与

校歌斉唱

卒業40・30・20・10周年懇親会

増淵理窓会会長挨拶



乾杯!!

30周年参加全員

松本学長挨拶

同窓出合いの広場

若手教員懇談会

応数 塚谷研究室

73年卒 工・工化同期会

89年卒 数学科同期会

混成合唱団部会

理工M学科1期生

各種展示・イベント



祥子さん

キッズサイエンス



こうようマルシェ

スペースコロニー研究センター



留学生団体模擬店

技術士会



桂歌助師匠

記念講演 大庭三枝教授



数学体験館

サイエンス夢工房

関西理窓会連合会

天文研同窓会



長万部特産品販売

薬理会女子部会

Asahi

すがすがしい。
三ツ矢サイダー

「三ツ矢サイダー」MITSUYA CIDERはアサヒ飲料株式会社の登録商標です。

100年のワクワクと笑顔を。
アサヒ飲料

のんだあとはリサイクル

第11回 坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高校部門)

10月27日(日)第14回ホームカミングデー当日、東京理科大学神楽坂キャンパス2号館211教室にて、第11回坊っちゃん科学賞研究論文コンテストの審査と表彰式が行われた。

今年の応募論文数は、昨年よりも多く195点となった。9月7日(土)に同窓の中学・高校教育関係者による分野別審査が行われ、9月13日(金)に大学関係者による総合審査で5論文を優秀論文として選出した。

この5論文の関係高等学校の生徒による発表がホームカミングデー当日の午前10時より行われ、審査の結果、下記のように最優秀賞と優秀賞が選出された。

最優秀賞の表彰を松本洋一郎学長が行い、優秀賞を秋山審査委員長が、優良入賞、入賞、佳作を坂本実行委

員長が表彰を行った。また、本コンテストに応募し、優秀な論文発表を行っている高等学校2校に特別賞として学校賞が学長より授与された。

今年、台風15号・19号による被害が広範囲となる中での開催となったが、会場は満席となった。



最優秀賞	優秀賞
造礁サンゴの白化メカニズム ～サンゴー共生藻ー細菌類の関係に着目して～ 玉川学園高等部(東京都) 齋藤 碧	食変光星YY Eriの研究 ～デジタルカメラによる側光観測～ 金光学園中学・高等学校(岡山県)
学校賞 群馬県立前橋女子高等学校 宮城県仙台第三高等学校	音の色 群馬県立前橋女子高等学校 異なる光条件下におけるシアノバクテリアに含まれるアスコルビン酸量に関する研究 愛媛県立松山南高等学校 ネオジム磁石を用いた地磁気水平分力の測定 札幌日本大学高等学校

受章の栄 第111回 新年茶話会(2020年1月11日)で表彰される方々 (敬称略)

叙勲者		第22回坊っちゃん賞	
青柳 勝久	昭和33年 理学部数学科卒	瑞宝小綬章	2018年秋
真山 崇	昭和46年 理学部応用物理学科卒	瑞宝小綬章	2018年秋
森永 和雄	昭和44年 理学部化学科卒	瑞宝小綬章	2019年春
真島 仁	昭和46年 理学部化学科卒	瑞宝小綬章	2019年春
石井 力	東京理科大学 名誉教授	瑞宝小綬章	2019年春
井口 道雄	東京理科大学 名誉教授	瑞宝小綬章	2019年春
小川 悦朗	昭和46年 理学部応用数学科卒	瑞宝双光章	2019年春
能勢 定	昭和48年 理学部応用数学科卒	瑞宝双光章	2019年春
正垣 泰彦	昭和43年 理学部物理学科卒	旭日中綬章	2019年秋
薩摩林 紘子	昭和37年 理学部応用化学科卒	瑞宝中綬章	2019年秋
片岡 寛	元 諏訪東京理科大学 学長	瑞宝中綬章	2019年秋
小林 恭一	東京理科大学 総合研究院 火災科学研究所 嘱託教授	瑞宝中綬章	2019年秋 (2019.11.18 現在)

NODA archi Salonはじめました ～「野田建築会」の近況

野田建築会は創設20周年を超え、新企画『NODA archi Salon(ノダ アーキ サロン)』をはじめました。



初回は、聖地「野田」を飛び出し、八丁堀のある地下ライブハウス。気さくな感じでアルコールを嗜みながら多方面で活躍しているOB/OGの話を聞こうと始まった企画です。パネラーは、左写真の中央2名(建築家とクリエイティブディレクター)。一般自由参加OKとしましたが流石に初回なので参加は役員会の身内がほとんどでした。建築に捉われない広い知見で得たものは多く、次回企画では、この『理窓』を読まれている理科大同窓の皆様にも広く参加を募りたいと思います。

話題を戻して、当会の生い立ちと近年の活動紹介をします。野田キャンパスの工学部建築学科は創立50年を過ぎましたが当初の同窓会は立消えの連続だったようで、1998年に、故上原先生の呼びかけと資金援助で「野田建築会」が発足しました。年2回の会報発行や定期的な在学生への支援活動を継続し、昨年20周年を迎えることができました。2019年4月現在の会員数は約6,500名で、学科同窓会としては、薬学部同窓会、築理会(工学部建築)に次ぎます。

【2017年活動】 工学部50周年では、「UNGA NEXT」をテーマとした建築学科の各種企画に野田建築会が積極的に参画、締めめの「大同窓会」では、歴代の先生も多数参加され大盛況を納めました。



工学部50周年 野田建築会大同窓会(361名出席)

【2018年活動】 野田建築会20周年として、同窓の古巣「野田2号館4階」で記念イベントを行いました。企画は、専門の建築色漂う企業パネル展と、他方、建築とは異色のOG歌手によるボサノバコンサートで



OGの歌手 行川さおりさん(2001年卒)

す。イベント当日は学園祭のなか多くの在学生が参加し、学生アンケートでは、イベントに対する多数感謝の意見を頂戴し成果ある企画となりました。



音響ルームでの拜聴風景

【2019年活動】 毎年学生を募って建築建物見学会を行っていますが、今年は音響系開発企業訪問をしました。建築=建物に固執しない観点を狙った

ものです。今回紹介したように、建築学科同窓の皆さんは様々な分野で活躍されています。野田建築会では今後も多方面での同窓との接点・発掘をもって、会の輪を広げ、在学生への支援をしていきます。(会長 栗飯原功一)



恒例の築理会との合同新年会 2019年



新年あけまして、おめでとうございます。

皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

後輩への大会活動支援が実り全国大会へ ～ 少林寺拳法部OB会

本会は少林寺拳法部OBで構成され、約600名の会員を有しています。I部体育局少林寺拳法部は2年前に創部50周年を迎えた大変伝統あるクラブです。2017年には御茶ノ水にある東京ガーデンパレスで学長を迎え盛大な創部50周年記念式典を開催致しました。

OB会の活動は主に現役学生への活動支援です。野田、神楽坂、葛飾各校舎にOBの監督各1名、コーチ1名を配置し、少林寺拳法の拳技の指導を行っています。

この指導のかいもあって昨年6/30(日)に行われた千葉県大会で



は団体演武の部:第1位となり千葉県代表として全国大会へ出場、組演武の部:第3位、単独演武の部:第3位の成果を得ることができました。またOB同士の懇親の活動としては年1回のOB総会を開催しています。昨年は6/1(土)に葛飾校舎の教室を借りて開催しました。19名のOBが参加し、OB会の活動内容の報告、防具など学生への補助などを審議しました。OB総会のあとは葛飾校舎の食堂を借りて、学生と一緒に懇親会を開催しました。懇親の締めは恒例の全員で円陣を組んで、校歌・応援歌を大合唱しました。時代が変わってもこの歌を大合唱することは変わりませんね。

空手道部員のバックアップ ～ 理空会

理空会は空手道部のOB・OG会です。東京理科大学I部体育局空手道部は昭和29年に始まりました。2部の学生も参加し、昭和41年の野田キャンパス、平成25年の葛飾キャンパスの完成に伴い、現在は3キャンパスの学生が参加しています。現役部員数は昭和40年代の約70名を最大に、平成20年代に2名になることもありましたが、現在は男女計27名です。成績は、昭和43年に東日本大会ベスト8、平成8年に全日本大学選手権ベスト16を納め、現在は2部制の中で1部校として活躍しています。理空会はこの学生部員を支えるべく、昭和35年に津田知充先輩を会長に発足しました。現在の会長は加藤隆一(昭和54年卒)が務め、会員数は268名です。会の目的は(1)会員相互の親

睦、(2)学生部員への支援、(3)空手道の技術向上です。毎週、学生部員の稽古を指導し、経済面では各会員の年会費1万円を元に学生部員の連盟登録費や遠征費を支援しています。また、年2回の会報発行や、師範による技術講習会を懇親も兼ね開催しています。空手道は東京2020オリンピックの正式種目です。バックアップ体制の万全な空手道部をご子息ご令嬢に紹介頂けますと幸いです。



写真:学生と会長、師範、OB

新たに加入された関連団体

新たに3団体が加入され73団体になりました。そのうち海外は7団体です。関連団体に登録ご希望の団体は、理空会事務局までご連絡ください。

【理空こはく会】代表者 半谷精一郎(工・電1975)



本学工学部電気工学科および工学研究科電気工学専攻のすべての卒業生の親睦を深め、工学部電気工学科の発展に寄与する新しい同窓組織作りを目指して参ります。静電気を生み出す「琥珀」とウイスキーの色を表す「琥珀色」に因んで初代学科主任の高橋喜久雄先生が名付けた教員の親睦組織「こはくの会」から名前を頂きました。会員数約100名。

【理空山岳会】代表者 小池純司(工・建1979)



理空山岳会の来歴は東京物理学校時代より84年間続く山岳会です。現在はI部体育局山岳部のOB会で、総会や忘年会、OB会員同志の山行に加え、現役部員の支援を行っています。90周年の記念事業を立案中です。

【長谷工理窓会】代表者 大栗育夫(工・建1974)



本会は長谷工グループに在籍する理科大出身者約130名を会員とし、年1回の総会を中心に活動しています。企業理念「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する」の基、長谷工理窓会として益々の活躍をはかって参ります。

ホームカミングデーでビー玉万華鏡展示 ～ 理窓光学会

理窓光学会は、1979(昭和54年)の創設以来基本的に年2回延べ74回(2019年6月まで)の講演会を実施しており、会員数も約150名となっている。創立40年になる今年(2019)、長年会長として本会を牽引されてこられた松野先生(理・物1966)より初内(理・物1977)がバトンを引き継いだ。本会の歴史を重んじながら“令和”の会として発展させていきたいと考えている。

講演テーマは光学に関するものという条件のみで、講師は会員、及び伝手を頼って理科大内外の方々にもお願いして、最先端レーザー技術から一般相対性理論と色々なものを取り上げてきた。光学は、レーザー技術を代表に、物性、医療、宇宙、情報、等々と様々な分野にわたって基幹技術となっており、先端科学技術の発展を支えていると実感される。しかも、この分野に理科大関係者が多く携わっていることを誇りに思う。

HCDでも、家族連れの子供たちに興味を持って貰えるような光学現象を取り上げ、展示、デモしている。今年もビー玉万華鏡、簡易分光器、等々を展示した。



ビー玉万華鏡

ビー玉側から

また、この『理窓』が読まれる頃には終わっているが、第75回講演会が12月7日にポルタ

神楽坂で開催予定である。今回は光学材料、光学設計が主テーマで原点回帰である。

◎最先端技術を支える特殊ガラスの世界

株式会社オハラ 南川 弘行 氏(基礎工・材料1995)

◎光学設計ソフト進化の歴史

株式会社タイコ 牛山 善太 氏(理・物理1981)

今回含めて過去の講演会要旨、入会手続きなどは当会ホームページをご覧ください。

<http://risokai.com/riso-opt/> (会長 初内記)

理科大卒業生の横の輪を広げよう ～ 理窓ビジネススクール会

理窓ビジネススクール会は2018年に専門職大学院の技術経営(MOT)、経営工学科、経営学部及び数学科などの卒業生を中心に発足した会です。設立時から理学部、薬学部、MIP(専門職大学院)の卒業生も多く参加しています。理科系の大学として有名である理科大ですが、科学・技術だけでなく多くの経営者を生み出しています。また大企業からベンチャー企業まで多くの卒業生がいろいろな取り組みをしています。気がつけば同窓生ということも多く経験されていると思います。そして、2-3か月毎にビジネスの運営における技術動向・新規事業開発・経営などのテーマでの後援会と情報交換・懇親会を行っています。大企業・ベンチャー企業・外資などの異業種交流の中で理科大のビジネススクールが進化してゆき、理科大卒業生の横の輪を広げてゆくこと、すなわちオープンイノベーションの推進

が目的です。情報交換会では、異業種交流の下、大企業、中小・ベンチャー企業の経営者・技術者・VCなどが、起業・転職・技術等の相談がなされています。

Facebook理窓ビジネススクール会に開催が決まりましたら掲載されますので、興味のある方は、時々見てください。また会員には案内が発信されます。



カタチに。想いを創る。創業から

To shape the feelings that follow from its inception.

1919年京都で生まれたダイニックは、創立以来100年をこえる歴史を誇ります。

主要製品

書籍装幀材 / 文具・パッケージ素材 / カーペット・壁紙 / プリンターリボン / フィルムコーティング製品 / 各種印字・印刷用素材 / 接着芯材 / 不織布 / 自動車内装材 / 各種フィルター / ターボリン / 名刺・ハガキプリントシステム / 有機EL 用水分除去シート / 食品包材



東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル TEL.03-5402-1811 URL:https://www.dynic.co.jp



支部だより

宮城 日本舞踊やライブショーでくつろぎながらの交流会

《宮城支部》 代表：加賀谷秀樹(理工・物1973)
27名参加 日時：令和元年8月31日(土)
会場：仙台ガーデンパレス

総会は大学からの現況や宮城からの受験者数と入学者数の変遷など報告があった。その後活動報告と活動計画案が承認された。交流会では27名と少ないが、初めての方の参加や首都圏からの特別参加もあった。「日本舞踊」や「祥子さんのライブショー」もあり「青葉城恋歌」という地元の歌もあり、くつろいだところで、多様な人生を送ってきた会員からの「一言スピーチ」があり、最後は若手二人による締めで幕は閉じた。



東京 スカイツリーの鋼管製作の秘話に感銘

《東京支部》 支部長：植木キク子(理工・物1971)
66名参加 日時：令和元年9月22日(日)
会場：神楽坂キャンパス 1号館17階

東京支部秋季大会総会を、報告会、講演会、演奏会、懇親会の次第で開催した。司会から秋季大会開会と来賓紹介と配布資料の「東京支部拡大忘年会」の案内があった。報告会では理事長代理及び理窓会矢部副会長より「大学の現状」と「理窓会の活動報告」後、維持会の森野会長より報告があった。講演会講師の(株)富田製作所取締役社長富田英雄さんのプロフィールがあり、演題「精密板金加工技術の秘話～スカイツリーの鋼管製作等～」の講演あった。世界一高い「東京スカイツリー」(高さ634M)や「出雲大社大鳥居」等の巨大な支柱の躯体を製作する三代目の代表としてモノづくり企業のDNAを継承して未踏の加工技術を切り開く技術集団の先駆性や苦労等の裏話があった。多数の方々改めて「モノづくりの想い」に大きな感銘を受けた。次に、東京藝術大学音楽学部出身の注目度の高いソプラノしもぎ響子さん、テナー工藤和真さん、ピアノ新里恵美さんによるオペラを中心とした演奏会を開催した。オペラのトークと音楽を楽しみながら、至福の時間に浸った。記念集合写真を撮影後に、懇親会があり、和気あいの歓談となった。校歌斉唱後、中締めで閉会した。



秋田 教員の初任者研修内容に興味

《秋田支部》 支部長：奈良伯夫(理・応物1966)
33名参加 日時：令和元年10月19日(土)
会場：ホテルパールシティ秋田

総会では予定した案件(会務報告・会計収支決算・役員改選)がすべて承認された。声掛けで毎回初めての方が数名参加した。新支部長に小松正孝氏(理工・数1976)が選出された。「初任者研修指導を通して学んだこと」の演題で講演会があった。講師は現中学校初任者研修統括指導教員の阿部義弘先生(理・物1983)。初任者研修の内容等大変興味深い内容であった。懇親会は和やかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごした。



千葉 桂歌助師匠の講演と落語を楽しむ

《千葉支部》 支部長：杉浦雅美(理・応化1974)
59名参加 日時：令和元年8月24日(土)
会場：ポートプラザちば

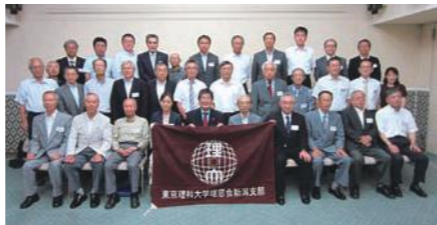
支部総会は、事業報告ほか5つの議案が承認された。母校からの報告として理事長と理窓会会長より大学と理窓会の近況報告があった。続いて本学卒業生の落語家、桂歌助師匠により「人の心を動かす話し方」という演題で講演があった。落語のしくみや落ちの作り方を解説後、落語の披露があった。講演後は記念撮影をおこない、懇親会では親交を深め大いに盛り上がった。



新潟 講演会で「本質を正しく理解する重要性」を学ぶ

《新潟支部》 支部長：上杉 肇(理工・数1980)
34名参加 日時：令和元年9月28日(土)
会場：じょいあす新潟会館

支部総会では、活動報告、会計報告などを行い承認された。その後「物理教育の現状と今後の展望」の演題で東京理科大学教育支援機構教職教育センター准教授の興治文子先生の講演会があった。本質を正しく理解することの重要性、風船を用いた落下の実験など、大変興味深い内容であった。懇親会では様々な思い出話や互いの近況報告で、楽しい時間を過ごすことができた。初参加の会員もあり、充実した会になった。



神奈川 全国の支部に先駆けて女子部会「イベリスの輪」が発足

《神奈川支部》 支部長：山下庫太(理工・物1971)
86名参加 日時：令和元年7月27日(土)
会場：よこすか平安閣

今回は地区会の活性化を図るために主催地区である横須賀で行った。人数の減少が心配されたが、10名を超す新規参加があり結果的には成功であった。オプションツアーとして、軍港巡りを行い45名の乗船があり大盛況でした。総会では、大学・理窓会・維持会・教育会・こうよう会・首都圏支部から多くのご来賓があった。講演会では同窓の住職・松本隆行師から法話を聴いた。大変興味深い内容でしたが、時間が短すぎとの意見もあった。懇親会では、神奈川支部の誇るマジック同好会の面々が、各テーブルを回ってマジックを披露し、大変盛り上がりを見せた。各同好会や地区会からの報告の後、大嶋副支部長から女性部会の発足のお知らせと参加の呼びかけがあった。女子会では飲み会と間違えるという意見で女性部会の名称を「イベリスの輪」というおしゃれな名前にすることが決まっている。イベリスとは花の名前で、花言葉は「人をひきつける」ということです。全国の支部に先駆けて発足したので、未永く続けていきたい。また、将棋同好会の発足呼びかけと模範対局もあり、大変盛会のうちに、校歌斉唱・記念撮影の後お開きとなった。



山梨 大村先生の生家を訪ね、葎崎大村美術館を見学

《山梨支部》 支部長：奥村一利(工・築1978)
7名参加 日時：令和元年9月7日(土)
会場：ニュー芙蓉

今年度の山梨県支部総会は、理窓会主催で行われた「大村智先生(ノーベル賞受賞者)を訪ねるツアー」に併せて開催した。山梨県葎崎市の生家で大村先生の話聞き、葎崎大村美術館を見学した。会場を甲府市のニュー芙蓉に移して支部総会を行った。増淵会長より、理窓会の現状や将来展望を聞き、発展していく同窓会の様子を頼もしく感じた。懇親会を行い、いろいろな話に花が咲き、時間を忘れる楽しい時間を過ごせた。



富山 秋山 仁先生の講演で数学の面白さを堪能

《富山支部》 支部長：滝本恒平(理・数1966)
39名参加 日時：令和元年8月17日(土)
会場：富山地铁ホテル

総会では、来賓からの報告で「理科大学の現状や将来像、理窓会の活動がわかった。個人情報や名簿の管理の難しさや大変さがよくわかった。」等の感想があった。総会后、「変身理論と新・坊っちゃん伝」の演題で東京理科大学特任副学長の秋山仁先生の講演会があった。軽妙な語り口で、数学のおもしろさと奥深さを堪能できた。懇親会も大変盛り上がった。



石川 昆虫の翅と飛行機の翼の講演に興味

《石川支部》 支部長：柿本自如(理・応物1970)
22名参加 日時：令和元年8月24日(土)
会場：ANAクラウンプラザホテル金沢

本年は、『昆虫の翅と飛行機の翼～空力特性の違いから見た面白さ～』というテーマで金沢工業大学航空システム工学科岡本正人先生の講演があった。総会では、柿本支部長挨拶、事業報告、会計報告・監査に続き、大学より現状と展望の話があった。懇親会では、理窓会からの報告があった。大学関係者やこうよう会役員共々と、盛大に親交を深めた。



長野 「まちに大学が、まちを大学に」の講演に傾聴

《信州支部》 支部長：木下昭一(理・応物1975)
26名参加 日時：令和元年10月20日(日)
会場：ホテル信濃路

来賓を含め26名の参加があった。平成30年度事業報告・会計報告などが承認された。役員改選があり支部長が飯田洋市氏(H1理・数)に交代した。信州大学の勝亦達夫氏から「まちに大学が、まちを大学に」と題した講演があった。懇親会では、公立諏訪東京理科大学小越澄雄学長のあいさつ後、出席者全員からの自己紹介や近況報告を交えながら歓談した。



支部だより

静岡 講演に深い関心もって聴講する

《遠州支部》 代表：久保 修(理工・機1979)
27名参加 日 時：令和元年8月24日(土)
会 場：グランドホテル浜松

今年度の講演は、東京理科大学生命医科学研究所上羽悟史准教授に、「抗CD4抗体療法:東京理科大学から発信する新たながん免疫治療の可能性」と題しての講演があった。深い関心を持って聴講した。総会では、前年度の活動内容並びに会計監査報告、役員改選などが全会一致で承認された。大学の現状や同窓会の現状の報告があった。懇親会では、各地区の活動状況を知るとともに更なる親交を深めた。



鳥取 ビンゴ大会などで和気あいの親睦会

《鳥取支部》 支部長：齋尾宏伸(理・数1976)
9名参加 日 時：令和元年8月25日(日)
会 場：ホテルセントパレス倉吉

大学より大学の現状・理窓会活動報告の後、支部の会務報告・決算報告・事業計画案・予算案・役員改選などについて協議した。役員改選では現役員が引き続きその職にあたる事が承認された。今年度支部総会の欠席連絡のあった会員に対し支部総会のまとめを事務局から郵送することが承認された。ビンゴ大会を行い上位3名に対し景品を贈呈した。懇親会は和気あいの親睦会の中、活発な情報交換が行われた。



広島 笑顔になる車社会の実現に向けての講演に傾聴

《広島支部》 支部長：場田辰巳(理・応数1966)
38名参加 日 時：令和元年9月29日(日)
会 場：ホテル センチュリー21広島

支部総会では支部活動報告、決算報告、支部長交代が承認された。講演会はマツダ株式会社商品戦略本部主査の柄岡孝宏様より『マツダの目指す自動車の未来像』と題し、『人間中心』の考え方にに基づき、“利便性”より“人の心を元気にする”クルマ造りのコンセプトについて講演があった。大学より、母校が将来に向けより発展していることを実感できた。懇親会も大変盛況となった。



兵庫 被害者に寄り添い心のケアに努めた活動に感激

《兵庫支部》 支部長：宮宅勇二(理工・築1976)
25名参加 日 時：令和元年10月5日(土)
会 場：兵庫県民会館

支部の活動報告、会計報告のあと、牧秀一氏(理工・数1973)からNPO法人よろず相談室・理事長としてのこれまでの25年間の活動の報告などがあった。牧氏は阪神大震災や東北大震災のあと被災者に寄り添って話を聞き多くの被災者の心のケアに務める活動をしてきた。その活動は広くマスコミにも知れ渡り引退表明の際は各新聞社がこれを取り上げた。懇親会では、全員が現況報告をして和やかな雰囲気の中、閉会となりました。



愛媛 詳しい代議員総会の報告に耳を傾ける

《愛媛支部》 支部長：日野貴文(理・数1978)
13名参加 日 時：令和元年8月11日(日)
会 場：にぎたつ会館

総会では『理窓会長通信』を資料に代議員総会における理窓会長挨拶及び審議内容等について報告があった。支部事業報告、決算報告や理窓会会則が承認された。東京理科大学より大学の現状、理窓会の現状についての報告があった。懇親会ではこうよう会のご参加もあり、出席された方々とも懇意に親睦を深めることができた。



大分 進化する理大の評価の高さに、自信と誇り

《大分支部》 支部長：開 憲明(理・数1965)
23名参加 日 時：令和元年10月5日(土)
会 場：日田の宿「よろづや」

大学より東京理科大学の実績と現状や、世界の理科大学を目指す発展的変革等の大学の報告や理窓会会長より、同窓会の活動支援の事例報告があった。支部長から理窓会代議員総会・支部長会の報告などがあった。終了後、遊船での懇親会では歌手の祥子さんの歌に拍手喝采、参加者一人一人の自己紹介がある中、進化する理大の評価の高さに、改めて自信と誇りを取り戻した。会員相互の絆も深まりとても盛り上がった。



第1回東北フォーラム『本場山形の芋煮を味わう会』

日 時：2019年9月29日(日) 11:00～
会 場：山形市馬見ヶ崎川河川敷
参加支部：青森、秋田、岩手、宮城、山形



「第1回東北フォーラム」山形芋煮会は心配された天候の中でしたが、晴れ間も見える中で開催された。東北各支部ならびに首都圏から参加、総勢20名の参加の下で、山形の醤油に牛肉という上品な味、美味しい川面の空気、絵画のような蔵王連峰の山々を見ながらの交流となり忘れることができない、本場山形の芋煮を味わう会が盛況裡に終わることができた。来年は宮城でという話や河川敷にある大鍋で食べてみたいという話も出るなど、各支部の活性化のために今後も何か交流を続けていこうとなった。



グローバル理窓会発足式開催さる(10/27)



2019.10.27 東京理科大学HCD 神楽坂キャンパス834号室にて、理窓会「グローバル理窓会」発足式が行われた。松本学長、増淵会長から祝辞を頂き、発足会が上海理窓会副支部長の葉さんの司会の初代会長に選ばれた大谷さんもと、仮会長に選出された元上海支部長の太谷三喜男さん(工・工化79)からグローバル理窓会発足の目的についての説明があり、参加者の皆さんから大谷会長と3人の副会長、元タイ支部長坂本統さん(工・機械87)、元マレーシア支部長池田昌弘さん(工・工化80)、ベトナム支部長小山忠明さん(理・化77)が選出された。

グローバル理窓会の目的

- ①海外理窓会支部会員の帰国後の懇親を図る。
 - ②海外経験を活かし、世界の東京理科大学を目指す、母校に対し海外支部発展新設への協力支援をする。
- 当日の参加者30名/会員24名/東京理科大学松本学長、理窓会本部5名(山田顧問、増淵会長、石神前会長、福田前副会長、近藤グローバル理窓会担当)参加者内訳/上海支部13名/タイ支部5名/マレーシア支部4名/ベトナム支部2名
- 参加者全員の海外での経験、グローバル理窓会への思い、期待等が楽しい雰囲気の中で披露された。今後活発な活動を開始して、グローバル展開は我々に任せてくださいの大変心強いご意見があった。



知的財産戦略を支援するプロ集団です

特許業務法人
太陽国際特許事務所®

□東京オフィス 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 TEL 03-3357-5171 FAX 03-3357-5180
□横浜ランチ 神奈川県横浜市
□USオフィス Alexandria, VA U.S.A

<http://www.taiyo-nk.co.jp>



杭工事とおやしバンド

学生時代からの軽音楽同好会のメンバーで

三輪 富成 (みわ とみなり)さん

(株)三誠ホールディングス 代表取締役会長 (工・建1973)



私は現在三誠ホールディングス代表取締役会長として現在も現役で働いております。弊社は杭工事回転鋼管杭の会社として全国14カ所に営業拠点を持つ(株)三誠を中心に業務しております。また建築の構造技術に特化した会社を傘下に収めグループで

160名を擁する陣容になっております。会社は25年前に建築学科の同級生小川ひろし君と始めた会社です。彼とは前職から杭の技術者として研鑽し夢をもって始めました。それが今日この種の杭としては全国一位のシェアを得るまでになりました。小川君のひたむきな努力と技術力は会社の発展の原動力でした。また現在の重役陣には2名とその他4名の理科大卒の若手が頑張っています。来年は大学院新卒者が入ってくる予定です。理科大卒が我が社の技術陣として大きな力を発揮してくれています。

また工学部建築学科教授高橋治先生には新規技術の指導を頂いております。杭と柱の直結工法、住宅を空気で浮かせて地震力を制御する工法工ア一断震システムなど日本における先進的技術開発とすべく大きな力を頂いております。

以上仕事の面では東京理科大学がベースになって発展できました。まだまだ新しい技術を開発し、日本の中での存在感のある会社を目指しております。



右端が筆者

私のもう一つの大きなポジションが音楽です。大学時代は軽音楽研究会フォークソング部門に所属しておりました。この時ウッドベースに出会い今この楽器を楽しんでおります。そして2年生の時からバンド仲間、飯塚精一君(応用数学卒)、宮沢常泰君(電気工学卒)と現在もバンド(Sunny Side Top)を組んで頑張っています。1960年代に活躍したアメリカのフォークソングバンド、Kingston Trioのコピーバンドです。このバンドが来日の時、大阪サンケイホールで一緒に出演させて頂いたのは良い思い出です。昨年には142バンドがエントリーしたおやしバンド選手権(三井不動産主催)で優勝しました。セミプロの若い連中に混じって、70前後の高齢者グループの快挙でした。



今年も数多くライブハウスに出演しております。私にとって東京理科大学が公私とも原点になっています。これからも東京理科大学とのかかわりとして、建築学科校友会「築理会」の発展に寄与したいと思っています。



教員生活始めて4年目 ~努力は裏切らない

鈴木 智大 (すずき ともひろ)さん

神奈川県立上溝南高等学校 教諭 (理・数2016)

教員生活を始めて、4年目になります。大学時代を振り返ると、艱難辛苦の中で勉学に励んだことが思い出されます。教職支援センターの田中均先生のご指導により、卒業後は、1年間の臨時的任用職員を経て、正規職員になりました。現任校は3年目で、2年生の担任をしています。受け持っている生徒の成長を願う一方で、キャリア支援グループに所属し、「キャリア通信」の発行を行い、生徒の意識を高めながら、ICTを用いた進路指導の環境を整えています。また、バスケットボール部の顧問として「応援されるチームづくり」を目指し、周りに気を配り、ともに成長することを重視しています。大学での努力が今の力になっていると、実感するこの頃です。

「数学」の教科指導では、筋道を立てて物事を理解できるように、生徒の“わかった”を大切に、理解を深め、活用できる知識を身につけることを目指しています。

現在は、ICTの活用を教科指導においても考えており、仲間と研究活動を進めています。生徒たちが主体的に深い学びができ、さらに学力が向上することを願い、日々教材研究に努めています。

忙しい毎日ですが、教職に誇りを持ち、充実した日々を過ごしています。



第2回物理学園賞受賞

光触媒研究の先端をいく

前田 和彦 (まえだ かずひこ)さん

東京工業大学 准教授 (理・応化2003)

はじめに

お断りしておく、本稿の表題は筆者がつけたものではなく、編集部から頂戴したものである。「先端をいく」というと幾分気恥ずかしい感情が芽生えてくる。筆者の勝手なイメージだが、光触媒のような機能材料研究の「先端」というと、例えば水分解水素製造の太陽光エネルギー変換効率の世界記録を更新するのに日々努力している方々を思い浮かべる。一方の筆者といえ、これは学生時代からのこだわりであるが、ゼロをイチにすることを最重要課題としてきた。それによって、何を成し得たかの詳細はここではあえて語らず、筆者の学生時代を手短かに振り返ることで、後輩諸氏の参考(?)になればと考える。

真面目な空回り学生

現在の教員という立場から改めて筆者の学生時代を振り返ると、要領はそこまで良くなかったがそれなりに勉強する学生だったように思う。成績的にはおそらく中の上程度か。記憶に残っているのは学生実験のレポートだ。例に漏れず、いろいろなルートで入手した過去レポを参考にしつつも、同輩らと図書館に籠って文献をあさり、自分の言葉でワープロを打っていた。(図1)に示すのは今でも残る当時のレポートである。確かこれは新設の実験科目のもので、当時は過去レポなどはもちろんなく、自力でやらざるを得なかったのだが。

さておきこの習慣は、今仕事として(研究者として生き残る糧を得るために)やっている研究成果報告書(英語の原著論文含む)の作成や研究費の申請書作成に大いに役立っている。研究者・前田和彦の礎は、間違いなく理科大での学部時代に培われたのだ。

学部4年に進級する直前、いろいろあって東京工業大学の堂免・原研究室で外部卒業研究をやらせていただくことになった。応用化学科の工藤昭彦先生(当時助教授)が紹介してくださったのだ。筆者の現在のライフワークでもある光触媒研究は、ここから始まった…のだが、最初は本当に散々だった。液体窒素汲み取り用のデュワービンが割る、高価なキセノンランプも冷却ファンのかけ忘れで壊す(もの凄いわ破裂音は今でも記憶に残っている)。典型的な空振り型学生の姿を晒していた。



夢の可視光水分解

しかしそんな中でもチャンスは訪れるものである。今でこそ、一部の教科書に載るくらいの内容となっているが、当時単一の光触媒を使った水の可視光分解は実現できておらず、研究室だけでなく当該研究のコミュニティでも夢の反応とされていた。幸運だったのは、この反応を再現よく進行できる光触媒を修士1年の最初の頃に見つけることができたことだった(図2)。まさか本当

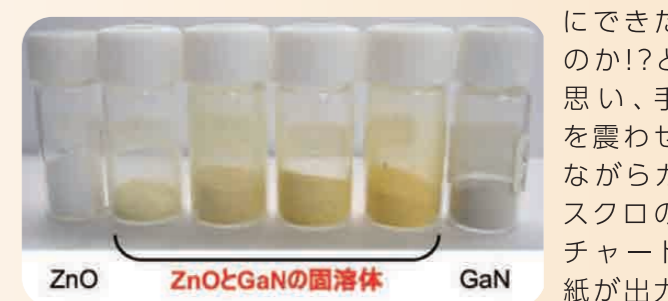


図2

にできたのか!?と思い、手を震わせながらガスクロのチャート紙が出力されるのを待っていたことを今でもはっきり覚えている。この幸運に至ったポイントをひとつ挙げておくと、学部4年生の頃から水分解光触媒の研究論文(もちろん英語)を読みあさっていて、手前味噌ながら知識だけはそのころ有していたことだ。可視光水分解の成果も、そうして得た知識を元に仮説を立て、実際に手を動かす中で得られたのである。

おわりに

学生時代の学位論文研究というのは、学士、修士、博士の違いによらず、指導教員という名の保護容器の中で行われる。だから、仮に研究がうまくいかなくても100%学生の責任とはならないし、逆に如何に大きな成果を得ても100%学生の力によると認めるのは難しい。とはいえ、研究活動を通じ、頭を使って考えて出したアイデア、それがうまくいって得られた成果、逆にうまくいかなかったという経験は、様々な形で自身に恩恵をもたらす、将来思わぬところで役に立つことがある。大事なことは、目の前の課題に全力で取り組むということだ。

上から目線になるが、後輩諸氏には「指導教員から一本とってやる!」くらいの強い気持ちで研究に励み、スケールの大きな研究者へと育てて欲しいものである。最後の最後で瑣末な話に聞こえるかもしれないが、論文の読み込みは研究者として力をつける最も確実な方法である、と記しておく。



デジタルアーカイブと「記憶の解凍」 ～技術とヒトのコラボレーション



がんばる同窓生

渡邊 英徳 (わたなべ ひでのり)さん
東京大学大学院 教授 (理工・建1997)

東京大学大学院の情報学環で、情報デザインとデジタルアーカイブの研究に従事しています。研究は、大学院生・外部のさまざまな機関とコラボレーションしながら進めています。

理科大理工学部建築学科に1993年に入学しました。大学3年のときに、建築家、故・小嶋一浩先生が着任され、研究室に勝手に押しかけ、図面の講評をお願いした僕を、とても面白がってくださったのを思い出します。在学中は「アンビルト建築」に憧れ、卒業設計においても「空を飛ぶ建築」を提案しました。それ以来、実物の建築からは離れ、仮想世界の空間・情報空間の「設計」にのめり込んでいきました。

大学院1年生のとき、ソニーのゲーム開発チームに「ゲーム内の建築デザイナー」として採用されました。学んだ建築の知識・技術を基にして、仮想空間を設計する仕事に就くことができたわけです。その後、紆余曲折を経て、気づけば現在の職に就いています。

現在、取り組んでいる仕事は、大きく分けて2つです。「ヒロシマ・アーカイブ」(図1)をはじめとするデジタル



図1

を生み出す「記憶の解凍」プロジェクトです。これらのプロジェクトには、建築と同じように、地域に縁のある人々が参加しています。例えば「ヒロシマ・アーカイブ」に掲載されている



図2 白黒写真のカラー化

証言動画は、広島女学院高の生徒たちが、2010年から継続して収録してきたもの。そして「記憶の解凍」プロジェクトは、同じく広島の高校生・庭田杏珠さんとのコラボレーションによるものです。デジタル技術を起点として、人々のつながりが生まれ、コミュニティを形成しています。

そのコミュニティが、過去の貴重な記憶を、未来に受け継いでいくのです。

過去の資産を受け継ぎながら、時空間をデザインし、人々に開く点。さらに、人々とコラボレーションしながらコミュニティを形成していく点が、建築と共通していると思っています。

小嶋先生は、学校建築を多く手掛け、高く評価されたかたでした。代表作のひとつ「千葉市立打瀬小学校」(1995)については、僕も在学中に見学ツアーに連れて行っていただき、とても嬉しそうに紹介されていたことを思い出します。

人々を縛り付けたり、制御するのではなく、自由に、生き生きと振る舞うことができる場を、プロとして設計する姿勢。それが、小嶋先生から学んだことでした。いま取り組んでいるプロジェクトにも、その教えが生きています。僕は、途中から仮想世界へと向かい、実世界の建築を設計する仕事には就きませんでしたけれど、大学で学んだ「ひとの営み」を支える空間づくりを、これからも続けていきたいと考えています。

経営学部は、文系・理系の枠組みを超えた新しい視点から 実用的な経営の理論と技法を教育・研究する

能上研究室

東京理科大学
経営学部 経営学科

能上 慎也 教授 (東北大学 大学院 博士課程
電気及び通信工学専攻1984 修了)

- ・ 専攻分野：情報・数理システム
- ・ 研究分野：経営データ解析、性能評価、トラフィック制御



研究例2

働き方改革による労働時間制度の変化と業績との関係性について

本研究では、「働き方改革」により施行される弾力的労働時間制度(フレックスタイム制や裁量(みなし)労働時間制)の導入が、企業の業績や社員の思考にどのような影響を与えるかを重回帰分析やアンケート調査などを通して明らかにすることを目標としています。図2は、ある会社がみなし労働制を導入前 n_1 年間および導入後 n_2 年間で一人当たりの売上高がどのように変化するかを基準を定義した例です。その結果は、最終的には、例えば表1のように成功、準成功、失敗という判断で表現します。

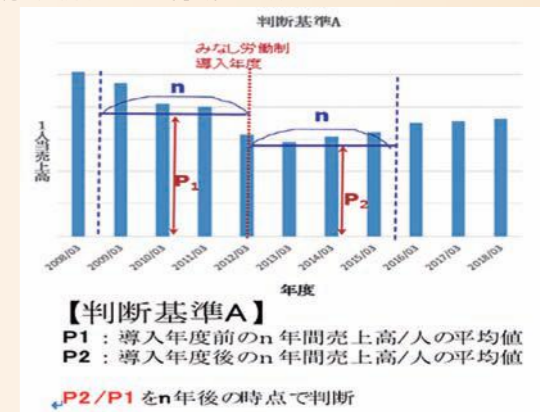


図2 制度導入の影響の判断基準例

表1 ある会社の導入効果判断結果例

判断基準1		判断基準2		総合判定	パターン
P_2/P_1	判定	O_2/O_1	判定		
>1	○	正	正	成功	1
<1	×	正	正	準成功	2
<1	×	正	負	成功	3
<1	×	負	正	準成功	4
>1	○	負	負	失敗	5
<1	×	負	正	失敗	6
>1	○	負	正	成功	7
<1	×	負	負	準成功	8
>1	○	負	負	失敗	9
>1	○	負	負	準成功	10
<1	×	負	負	失敗	11
<1	×	負	負	準成功	12

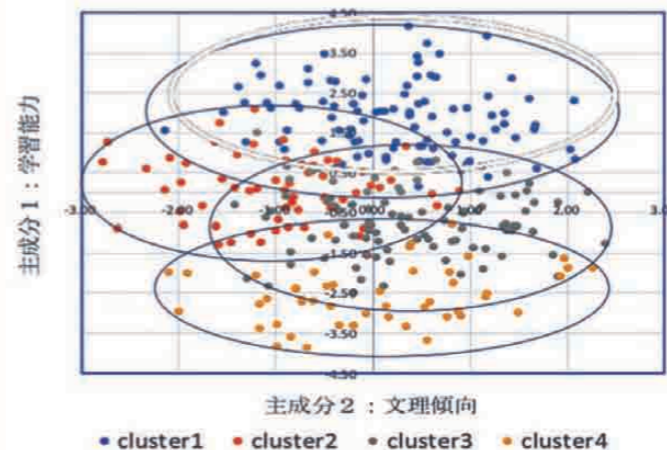


図1 文系/理系傾向と学習能力



3年生の能上ゼミの皆さん

卒研生
コメント
小黒 泰平 株式会社 協和エクシオ
(経営・経営 2009)

能上研究室では、ネットワーク上や実社会における待ち・混雑等を主要テーマとし、それらの課題点に対し各種分析手法を用いて、解決へ導くことを学びました。現在の私の仕事は専門職ではありませんが、研究室で学んだことは私が仕事をする上での基礎となっています。

謹んで新春をお祝い申し上げます
本年も東京理科大学の同窓の皆様へのサービス向上に尽力してまいります。2020年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
東京理科大学アカデミックパートナーズ株式会社 社員一同

TUS Online StoreがOPENしました!
<https://tus-online.com>

魅力的な理科大グッズを多数取り揃えています。
ご注文お待ちしております。

東京理科大学アカデミックパートナーズ(株)
☎03(5225)2083 E-mail:tus.ap@tusim.co.jp

この収益の一部を学校法人東京理科大学に寄付し、給付型奨学金の原資の一部などに活用されています。

TUS FORUM 2019 データサイエンスの さらなる展開 10/28 [mon]

東京理科大学(TUS)は、Society5.0(超スマート社会)を実現するための教育・研究拠点を目標として、2019年4月にデータサイエンスセンターを設立するとともに全学部でデータサイエンス教育プログラムをスタートさせました。これに関連して今年の「TUS FORUM 2019」は「データサイエンスのさらなる展開」として10月28日



高柳英明特任副学長



松本洋一郎学長

(月)、ホテルメトロポリタンエドモント(千代田区)で開催され定員を上回る多くの方が参加しました。



渡辺一之副学長

高柳英明特任副学長、松本洋一郎学長の挨拶で始まり、渡辺一之副学長からは、学部・学科を問わず学べる「データサイエンス教育プログラム」ではデータサイエンスに関する5つの各分野から20単位取得すると、認定書が授与されるお話がありました。



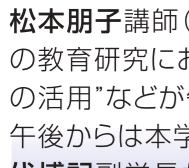
寒水孝司教授

次に、寒水孝司教授(情報工学科)から「情報工学と医療統計学」又、



松本朋子講師

施建明教授(ビジネスエコンクス学科)からは「データを活用して経済・経営を科学する」続いて、



施建明教授

松本朋子講師(教養学科)から「政治学の教育研究におけるデータサイエンスの活用」などが午前中講演されました。



藤代博記副学長

午後からは本学の取り組みについて藤代博記副学長から「東京理科大学データサイエンス研究の展開」、



矢部博CDS長

矢部博CDS*長から「データサイエンスセンターの展開」の講演がありました。ポス

ターセッションでは「東京理科大学データサイエンス研究の紹介」がありました。

※CDS(Center for Data Science)

その後の講演は、下記の3氏によって行われました。



岩井 泰雅 氏

第一生命ホールディングス株式会社 執行役員

第一生命は従来より数理的知識と統計的手法を用いたデータ分析をビジネスに生かしてきました。最近ではビッグデータ解析によりPrevention(予防・早期発見)という新しい付加価値の提供による「認知症保険」も好評です。



長谷部 佳宏 氏

花王株式会社 代表取締役専務執行役員

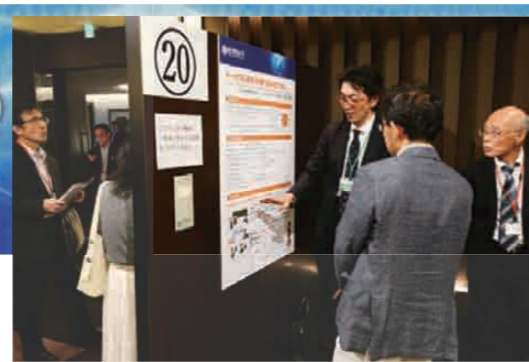
Idea(発想)からPrototyping(価値検証)そしてValue(社会価値)へ、それぞれの段階でデータサイエンス(データ分析)を利用して、新しい商品を作り出しています。一つの例として極細繊維(ファイファイバー)の吹き付けで初めて可能になる、見えない・剥がれにくい膜は新しい次元の事業にもつながっています。



鈴木 蘭美 氏

ヤンセンファーマ株式会社
メディカルアフェアーズ本部長

ヤンセンファーマ主催で行った学生対象のアイデアコンテスト「病のない未来」で最優秀賞に本学の学生2名も選ばれ、2週間のジョンソン・エンド・ジョンソンのインキュベーションラボ「JLABS」の研修旅行に招待されたこと、本題としてデータサイエンス(ビッグデータの活用)を用いて心の健康(例えば「うつ病」)などにもケアを提供できることなどを話されていました。



生命医科学研究所設立30周年記念国際シンポジウム開催(10/26)

生命医科学研究所設立30周年国際シンポジウムが10月26日秋葉原コンベンションホールにて、開催されました。初めに東京理科大学松本洋一郎学長より、開催のご挨拶がありました。



Kenneth Murphy教授

第一セッションではComplexity of Immune Response(免疫反応の複雑性)と題して、海外からの招待演者である米ワシントン大学のKenneth Murphy教授を含めて4名の研究者から発表が行われました。

昼食後の第二セッションでは、Immune cell development(免疫細胞の発生・分化)と題して、カリフォルニア大学サンディエゴ校のCornelis Murre教授、Max Delbruck-Center for Molecular MedicineのKlaus Rajewsky教授を含めて4名の研究者からの発表が行われました。

第三セッションではPathogenesis and Therapy(疾患の原因と治療)と題して、大連医科大学のYingjie Wu教授を含めた5名の研究者からの発表が行

れました。

会場を埋め尽くした160名以上の参加者も積極的に討



松本学長を囲む招待出席者の皆様

論に参加し、熱のこもった質疑応答が交わされました。また、英語での討論であったにもかかわらず、若い研究者や学生からの質問もあり、一流の研究者を前にしても物怖じしない態度に感心させられました。

会議の最後には懇親会が行われ、来賓の方々から多くの祝福の言葉を頂きました。会の途中では、懐かしい写真を見ながら生命医科学研究所の歩みを振り返りました。生命医科学研究所の学内外におけるこれまでの功績を再認識するとともに、



熱心な質疑応答

今後はA new wave of science(新しいサイエンスの波)を起こせるような研究所になることを祈念する一日となりました。

東京理科大学第1回宇宙シンポジウム開催(9/25)

2019年9月25日(水)東京理科大学野田キャンパスの新7号館において、第1回宇宙シンポジウムが開催され、150名を超える企業や研究機関、一般の方、教職員、学生の参加がありました。



向井千秋 特任副学長によるご講演

シンポジウムの第一部では、本山和夫理事長、松本洋一郎学長による開会挨拶の後、本学の教員による宇宙開発の取組についての講演、文部科学省と経済産業省による来賓講演、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、そして清水建設株式会社による技術講演が行われました。

次の第二部では、「日本の宇宙開発と大学の役割」と題して、我が国の宇宙理工学研究の機運が加速するために大学が果たすべき役割と期待について、パネルディスカッションが行われました。

最初に松本学長より、東京理科大学の研究戦略について説明があり、各パネリストから大学の役割



について

の忌憚ない意見が出され、白熱した議論となりました。また会場からは、宇宙



参加者の皆さん

教育プログラム受講の学生からの提案があり、今後の人材育成にも期待の持てる内容となりました。

最後にコーディネーターの米本教授から失敗を恐れずに挑戦するのが大学であり、パネリストから求められた多様性を追求する環境づくりを進めていくので、今後に期待して欲しいとの話でまとめました。

高柳英明総合研究院長による閉会挨拶の後、新7号館1階の上島珈琲にて交流会が行われ、参加者同士、交流を深めていました。



展示品(木村研究室)



展示品(米本研究室)

Transitions
light under control

トリプルカットで快適な見え心地
UV / フルライト / まぶしさ

Nikon

調光レンズ トランジションズ

室内では 明るい
外では まぶしさカット

メガネのできる健康生活
メガネドラッグ
近隣店舗はこちらから

工学部第二部を語る会～夜だからこそ学べた～9/21開催



河野守工学部第二部学部長

2019年9月21日(土)、葛飾キャンパス図書館3階大ホールで“工学部第二部を語る会～夜だからこそ学べた～”が開催されました。当日は本山理事長、松本学長の挨拶に始まり、河野守工学部第二部学部長の“工学部第二部の歴史について”のお話がありました。

工学部第二部は、“交通至便の神楽坂地区には社会的ニーズもある”と当時の平川仲五郎理事長の確固たる理念のもと、1974年工学部第二部開設に備えて9号館が着工されました。そして、1976年建築学科、電気工学科、経営工学科の3学科、各定員80名でスタートしました。初年度夏には、野田グラウンドに泊まり込みで体育集中講義も行われたとのこと。二部の志願者数もバブル景気の頃(1987年度)には2,000人を超えていましたが、社会情勢も変化し最も志願者が少ない年(2002年度)では600人を超える程度でした(定員3学科で240人)。学びの校舎も神楽坂から九段へ、それから葛飾と神楽坂との併用、そして最終的

(2016年)には葛飾に3学科とも移転していました。二部は一部と違って入学動機もさまざまなので、卒業率は66.5%、卒業生総数は8,419名です。但し現在在籍者は97名います。学部は近々廃止されますが「最後の1人まで教育する」を目標としています。

この後、卒業生お二人の講演、学生時代の話、その後の仕事の話などしていただきました。

*池田 佳人(工2・建1992)

ワイズデザイン一級建築士事務所
代表取締役



*筒井 大和(工2・電1981)

元日本弁理士会会長
筒井国際特許事務所所長

懇親会は大村ホールに移し、3学科卒業生、教員・旧教員約130名が集まる和やかな会になりました。



2020年4月 工学部建築学科 夜間主社会人コース 新設

今本啓一(工・建1990)
工学部第二部教授

2020年度から工学部建築学科に夜間主社会人コース(定員20名)が新設されることとなりました。都心において働きながら建築学を学ぶことができる唯一の理工系大学としての社会人コースです。建築設計だけでなく、構造・設備の設計、施工および防災まで幅広くカバーする総合的エンジニアリングが学べるカリキュラムを配置し、まずは2年次編入を対象としたコースとしています。従来の建築学科同様に一級建築士の取得を目指す教育課程と社会人(就業者)向けの学び直しにも対応します。

「リカレント教育・学び直し」はこれからの社会における重要なキーワードです。神楽坂キャンパスで、このキーワードを実践する先端的なプログラムが理科大工学部建築学科の発祥の地で新たに展開されることになったのです。なお、子細をここで書くことはできないのですが、この夜間主社会人コース設置にあたり同窓会組織である佐野吉彦会長が率いる「築理会」に、言葉では表せないほどの多大な、本当に多大なご支援を賜りました。紙面をお借りしてここに厚く御礼申し上げる次第です。

建物を造る夢を
神楽坂で学び
実現しよう



理窓会役員選挙に関する告示

理窓会副会長の任期は、理窓会会則第11条第1項第2号の規定により2年で、2020年3月31日までとなっております。このことに伴い、理窓会会則第10条にもとづく、理窓会副会長の選挙を右記のとおり実施いたします。

記

承認投票用紙発送 2020年2月18日(火)
郵送による投票締切 2020年3月 4日(水)
開票 2020年3月 5日(木)18時
(PORTA神楽坂第2会議室、立ち合い自由)

国際協力や社会貢献など、
多面的に火災科学発展に寄与する

「火災科学研究所」

東京理科大学には、国際的に高い評価を受けている研究機関が数多くある。大学が誇る研究所をシリーズで紹介する。第1回目は野田キャンパスにある火災科学研究所を訪問して萩原一郎火災科学研究所長に話を伺った。



萩原一郎 研究所長

火災科学研究所の概要

学内での位置づけは総合研究院に属しており、共同利用や共同研究拠点である「火災安全科学研究拠点」と連携し、また、「国際火災科学専攻」とも連携している。①火災科学研究所は、前身の総合研究所火災科学研究部門を核とする組織が、2003年度文部科学省・21世紀COEプログラム(先導的建築火災安全工学研究の推進拠点)に採択されたことを受けて設置された組織である。②産官からの研究受託等の充実や、国際協力や社会貢献も含めて、多面的に火災科学分野の発展に寄与する活動を展開してきている。特に、東アジア地域を中心とするアジアの諸都市での火災リスクやその安全対策に関する分析、集中講義の開催、若手研究者の短期留学等を通じて、外国の教育研究機関との連携も強め、人材育成面でも貢献してきている。③2013年度に文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援



研究所の構成と施設設備

建築火災安全工学研究は、火災現象に始まり、煙流動や延焼拡大、それに対する避難行動や構造部材の加熱性状などが対象となる。火災科学研究所では、こうした多岐に及ぶ研究対象を、相互関係として位置づけ、「変容する空間・材料利用に対応する火災安全工学」を軸として、①「火災物理・化学現象」、②「火災時の人間挙動(心理・生理・行動)」、③「性能的火災安全設計技術」に関

する研究、そしてそれら要素を総合化し実用化を図る。④「変容する空間・材料利用対応の火災安全性能評価・設計体系の確立に関する研究」に携わる4分野について研究活動を展開している。



実験棟での燃焼実験

こうした研究活動の一端を担うのが、火災科学研究所実験棟であり、大学に付属する火災科学研究専用施設としては世界トップレベルの規模を有している。

国際火災科学専攻

東京理科大学大学院理工学研究科の国際火災科学専攻の教育体制

(1)学生の募集は多岐にわたる

①学部からの進学

専攻には学部はなく、様々な学部を卒業した学生が入学対象になる。専門分野も様々で建築学科、化学科、物理学科、数学科や経営学科など多様性に富んでいるのも特徴である。

②留学生を積極的に受け入れる

国費外国人留学生の特別プログラムや中国留学生博物館との連携を推進している。現在、国費留学生9名が在籍している。さらに、韓国・湖西大学や中国・中国科学技术大学等とも連携している。また、国内の他大学や日本語学校からの受け入れも強化したいと考えている。

③社会人教育(スキルアップ)に対応している

社会人教育のため夜間大学院として平日の夕方や土曜日に講義をしている。また、消防士や防災設備会社等からも学生を受け入れている。

(2)教育の方針について

理論(講義)編と実践編(実習・演習)から成り立ち、実験棟を活用した実践系の研究を重視している。また、英語で修了(学位取得)することができる大学院でもある。火災科学を専門とする、アジア唯一の大学院で、多くの修了生は各方面で活躍している。

10月末の夕方、神楽坂キャンパスの池田憲一教授による講義では、すべて英語で授業が行われていた。この



国籍も様々な留学生たち

日はタイ、ベトナム、バングラデシュからの留学生と日本人学生が熱心に勉学に励んでいた。

2020 謹賀新年

本年もよろしくお願いたします

学校法人東京理科大学 理事長 本山 和夫 (理工・経72)	東京理科大学 学長 松本 洋一郎	東京理科大学維持会 会長 森野 義男 (理・化78)
--	-------------------------------	---

理窓会 会長 増淵 忠行 (理・物68)	理窓会 名誉会長 塚本 桓世 (理・応物65)	理窓会 顧問 山田 義幸 (理・化54)	理窓博士会 会長 秋山 仁 (理・応数74)
--------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

理窓会(東京理科大学校友会)

会長 **増淵 忠行**(理・物68)

副会長 橋本 巖 (理・物69) 小林 秀至 (理工・電79)	矢部 博 (理・応数77)	山本 幸央 (理工・経工77)
常務委員 坂本 功 (理・数66) 松原 秀成 (理・物70) 加賀谷秀樹 (理工・物73) 昌子久仁子 (薬・製薬77) 上村 直樹 (薬・製薬86) 佐竹 信一 (理工・機90)	大岩 昭之 (工・建68) 廣瀬 和昭 (理・数73) 近藤 明 (工・工化73) 西川 英一 (工・電81) 梅原たまき (理・応数89) 松田 一朗 (理工・電91)	小嶋 延吉 (理・数70) 岡本 公爾 (工・工化73) 山崎 晃弘 (理工・建76) 兵庫 明 (理工・電84) 樽谷 隆 (理・化89)
監査委員 藤井 浩 (工・機69)	富岡 康夫 (理・化73)	

**東京理科大学
理学部第一部**

学部長 **坂田 英明**

教養学科 主任 **並木 幸充**
数学科 主任 **眞田 克典**
物理学科 主任 **二国 徹郎**
化学科 主任 **下仲 基之**
応用数学科 主任 **瀬尾 隆**
応用物理学科 主任 **遠山 貴巳**
応用化学科 主任 **根岸 雄一**

**東京理科大学
工学部**

学部長 **倉淵 隆**
副学部長 **池口 徹**

教養主任 **本田 宏隆**
建築学科 主任 **郷田 桃代**
工業化学科 主任 **近藤 行成**
電気工学科 主任 **河原 尊之**
情報工学科 主任 **谷口 行信**
機械工学科 主任 **山本 誠**

**東京理科大学
理工学部**

学部長 **井手本 康**
副学部長 **伊藤 浩行**
” **大宮 喜文**

教養主任 **関 陽児**
数学科 主任 **廣瀬 進**
物理学科 主任 **須田 亮**
情報科学科 主任 **滝本 宗宏**
応用生物科学科 主任 **鎌倉 高志**
建築学科 主任 **伊藤 香織**
先端化学科 主任 **有光 晃二**
電機情報工学科 主任 **榎田 洋太郎**
経営工学科 主任 **石垣 綾**
機械工学科 主任 **早瀬 仁則**
土木工学科 主任 **加藤 佳孝**

共に響き合う理工学部へ
RSNANE

**謹賀新年
東京理科大学
基礎工学部**

学部長 **向後 保雄**
電子応用工学科 主任 **佐竹 信一**
材料工学科 主任 **西尾 圭史**
生物工学科 主任 **堀戸 重臣**
長万部教養部長 **竹内 謙**

**東京理科大学
薬学部・薬学研究科**

学部長・研究科長 **宮崎 智**
薬学科 主任 **花輪 剛久**
生命創薬科学科 主任 **和田 猛**

**東京理科大学
理学部第二部**

学部長 **佐々木 健夫**

数学科 主任 **佐古 彰史**
物理学科 主任 **辻川 信二**
化学科 主任 **山田 康洋**
教養主任 **菊池 靖**

**東京理科大学
経営学部・経営学研究科**

学部長・研究科長 **武藤 滋夫**
経営学科 主任 **関谷 和之**
ビジネスエコノミクス学科・
経営学専攻 主任 **梅澤 正史**
技術経営専攻 主任 **若林 秀樹**

理窓会 参与

阿部 治男 (理・応物65) **今泉 浩** (理・数65) **田中 理房** (理・数65)

**東京理科大学
オープンカレッジ
事務局**

社会人教育センター長
平川 保博

〔社会人教育・リカレント教育拠点〕
として
ビジネス講座・一般教養講座を
多数開講しています。

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋4-10-1
セントラルプラザ2階
TEL 03-5227-6268(平日9:00~17:00)
FAX 03-5227-6263
URL <https://web.my-class.jp/manabi-tus/>

理窓会 埼玉支部

支部長 **小林 美喜夫**(理・化71)
副支部長 **齊藤 進**(理・物69)
” **小嶋 延吉**(理・数70)
” **中埜 正一**(理工・電71)
” **本多 昇**(理工・化77)
” **足立 哲也**(理・数79)
” **松本 明**(理・数82)
” **武内 道郎**(理・数83)

理窓会 福井支部

支部長 **山下 秀雄**(理・物72)
代議員 **末本 守**(理工・物76)
事務局 **荒井 広臣**(理・応数85)
H P **小林 明男**(理・化75)
会 計 **古市 恭也**(理工・建95)

理窓会 愛知支部

支部長 **二村 菊久**
代議員 **天野 卓**

理窓会 鳥取支部

支部長 **齋尾 宏伸**(理・数76)

理窓会 北海道支部

支部会員一同

理窓会 岩手支部

支部会員一同

理窓会 新潟支部

支部長 **上杉 肇**

理窓会 富山支部

支部長 **滝本 恒平**(理・数66)
代議員 **高田 正保**(理・物70)
幹事長 **中島 範行**(薬・製薬84)
会 計 **池松 耕二**(理工・電77)

理窓会 千葉支部

支部長 **杉浦 雅美**(理・応化74)
副支部長 **田村 清志**(理工・数79)
” **阿部 隆之**(理・応物80)
” **太田 恭正**(理・数84)
相談役 **眞田 孝則**(理・化75)
顧 問 **鯉淵 武敏**(理・化52)
” **増田 重衛**(理・物61)
” **水野 澄**(理・数65)
” **小倉 正敬**(理・物69)

理窓会 静岡支部

支 部 長 **松原 龍一**(理・物75)
代 議 員 **大野 幸人**(理・化73)
東 部 会 長 **石井 裕基**(理工・化76)
中 部 会 長 **海野 俊彦**(理・化80)
遠 州 会 長 **久保 修**(理工・機79)

理窓会 三重支部

支 部 長 **立松 忠博**

理窓会 広島支部

支部長 **前眞 一郎**(理・数77)
副支部長 **久岡 正敏**(理・応数68)
副支部長 **和泉 知示**(理工・電気81)

理窓会 青森支部

支部長 **阿保 民博**(理工・物73)
代議員 **藤原 広洋**(理工・工化71)
副支部長 **石崎 聖一**(理工・電73)
” **工藤 真紀夫**(理・数74)
” **角 弘幸**(理工・数81)

理窓会 茨城支部

支部長 **山極 時生**(理工・電71)
副支部長
水戸 **飯島 義光**(理工・機04)
県南 **菊地 和之**(理工・数76)
県西 **皆見 操**(理・応物77)
県北 **三村 靖**(理工・電82)
H P **森尾 修一**(理・応物70)
会 計 **西村 隆浩**(理工・物99)

理窓会 信州支部

支部長 **飯田 洋市**(理・数89)

理窓会 東京支部

支部長 **植木 キク子**(理・物61)
副支部長 **島崎 益男**(工・機70)
” **半谷 精一郎**(工・電75)
” **廣瀬 和昭**(理・数73)
” **稲垣 雅子**(工・建79)
” **梅原 たまき**(理・応数89)
相談役 **松原 秀成**(理・物70)

理窓会 滋賀支部

支部長 **横山 成紀**(理・応物67)

理窓会 奈良支部

顧 問 **阿部 治男**
支 部 長 **森西 耕一郎**
代 議 員 **駒井 彰**

理窓会 兵庫支部

支部長 **宮宅 勇二**(理工・建76)
代議員 **上杉 秀樹**(理・数86)

理窓会 山口支部

支部長 **福永 健一**
副支部長 **平川 芳孝**
幹 事 **深井 保司**
” **梶井 浩志**

理窓会 秋田支部

支部会員一同

理窓会 宮城支部

支部長 **加賀谷 秀樹**
幹事・監査役・会員一同

理窓会 栃木支部

支部会員一同

理窓会 群馬支部

理窓会 山梨支部

支部長 **奥村 一利**(工・建78)
代議員 **橋田 多喜夫**(理・物78)
事務局長 **窪田 敏章**(理・化84)

理窓会 神奈川支部

支部長 **山下 庫太**(理工・物71)
副支部長 **細川 秀夫**(理・化76)
” **大嶋 啓子**(理・数74)
” **平田 治夫**(理・数77)
” **樽谷 隆**(理・化89)

理窓会 岐阜支部

支部長 **松田 正英**

理窓会 奈良支部

顧 問 **阿部 治男**
支 部 長 **森西 耕一郎**
代 議 員 **駒井 彰**

理窓会 香川支部

支部長 **上野 準一**(工・経73)
代議員 **合田 一洋**(理工・土木99)

理窓会 高知支部

支部長 **和田 雅史**(理工・建81)
代議員 **刈谷 聡**(理工・電82)

本年もよろしくお願ひいたします

理窓会 京都支部
 支部長 藤森 廣幸(薬・製薬72)
 副支部長 稲見 國男(理・応化70)
 副支部長 谷岡 秀幸(理工・数75)
 代議員 小西 敏治(工・経71)

理窓会 大阪支部
 支部長 秋山 茂夫(理・応物72)
 代議員 萩野 隆司(理工・建82)
 支部幹事
 今泉 浩(理・数65) 木村 宗光(工・建66)
 中江 康男(工・電70) 駒井 幹彦(工・電70)
 安部 清行(理・応物72) 梶原 巡(理・応物78)
 蒔田 司郎(理・数79) 大谷 亮(理工・建11)

理窓会 和歌山支部
 支部長 佐藤 寛司(理・応化05)
 代議員 栗山 哲也(工・建76)
 評議員 岡本 公爾(工・工化73)
 事務局長 貴志 真士(理工・物01)

理窓会 岡山支部
 顧問 赤木 寛(理・物57)
 顧問 川上 洋一(理・数65)
 支部長 三浦 康男(理工・数71)
 副支部長 清水 男(理工・工化75)

理窓会 大分支部
 支部長 開 憲明(理・数65)
 代議員 松崎 忠央(薬・製薬75)

理窓会 宮崎支部
 支部長 坂元 一貴(薬・業81)

理窓会 長崎支部
 支部長 井手 義道(理・物63)

理窓会 沖縄支部
 支部長 仲里 恒雄
 代議員 岩切喜一郎
 事務局 名嘉 正光

東京理科大学 同窓経営者会
 会長 本山 和夫(理工・経72)
 副会長 中谷 幸俊(工・経71)
 幹事 梶原 巡(理・応物78)
 幹事 林 良祐(理・応物87)
 幹事 古矢 元一(理工・応生82)
 会計監査 渡辺 通春(理・応物71)

関西理窓会連合会
 会長 岡本 公爾(工・工化73)
 副会長 秋山 茂夫(理・応物72)
 顧問 柴田 真一(理・化60)
 顧問 関川 正文(理・化60)

野田建築会 (理工学部建築学科同窓会)
 会長 栗飯原 功一(理工・建85)

理窓教育会OB会 北斗の会
 代表 磯脇 一男(理・数64)

東京理科大学 同窓経営者会
 会長 本山 和夫(理工・経72)
 副会長 中谷 幸俊(工・経71)
 幹事 梶原 巡(理・応物78)
 幹事 林 良祐(理・応物87)
 幹事 古矢 元一(理工・応生82)
 会計監査 渡辺 通春(理・応物71)

理窓ビジネス同友会
 会長 山本 幸央(理工・経77)
 副会長 島崎 益男(工・機70)
 理事 福田 義克(工・建68)
 宮川 公治(工・経73)
 望月 克巳(理工・応生83)
 坂本 哲志(理工・情95)
 理事兼事務局 菅原 寛子(MOT2018)
 事務局 〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂7F (http://kigyou.risou.net/)

東京理科大学 薬学部同窓会
 会長 上村 直樹(86)
 副会長 関 裕史(81)
 副会長 磯部 総一郎(85)
 副会長 伊集院 一成(88)
 副会長 内村 兼一(93)

からくり会
 年代等の垣根を超えた情報交流会
 「あゆの会」「理翔会」を経て平成18年に結成しました。
 毎月第一木曜日、年10回以上の例会(トークライブ)を開催。
 詳細は下記HPをご覧ください。
<http://risoukai.com/karakuri/>

理窓ヨット倶楽部
 会長 大熊 清二(工・建72)

開基と憩いの場 理窓棋院
 会長 今泉 精一(工・建68)
 事務局 shimizu-keiji@55.netyou.jp

ワンダーフォーゲル部 OB会

築理会
 会長 佐野 吉彦(工・建79)

事務局理窓会
 会長 小林 秀至(理工・電79)
 幹事・監査役・会員・同窓事務職員一同

結成21年目 理窓美術同好会

東京理科大学 バasketボール部 OB・OG会

I部体育局硬式庭球部OB・OG会 理庭会
 会長 十時 康行(理・物60)

東京理科大学 理窓教育会
 会長 富岡 康夫(理・化73)
 参与 磯脇 一男(理・数64) 酒匂 昭男(理・化55) 伊藤 操(理・物61) 坂本 功(理・数66)
 理事 小野 具彦(理・化67) 會田 良三(理・化68) 小久保正己(理・数69) 澁谷 重雄(理・数69)
 松原 秀成(理・物70) 齋藤 常男(理・物71) 榎本 成己(理・応物71) 長谷川 純一(理・物73)
 廣瀬 和昭(理・数73) 菅井 悟(理・物73) 小岩 利夫(理・物75) 高橋 伯也(理・数74)
 田中 均(理・数76) 並木 正(理・物80) 小林 博(理工・機77) 竹村 精治(理・応数76)
 吉川 知己(理・化81) 中村 信雄(理工・応生80) 松本 明(理・数82)

東京理科大学 理窓教育会
 会長 富岡 康夫(理・化73)
 参与 磯脇 一男(理・数64) 酒匂 昭男(理・化55) 伊藤 操(理・物61) 坂本 功(理・数66)
 理事 小野 具彦(理・化67) 會田 良三(理・化68) 小久保正己(理・数69) 澁谷 重雄(理・数69)
 松原 秀成(理・物70) 齋藤 常男(理・物71) 榎本 成己(理・応物71) 長谷川 純一(理・物73)
 廣瀬 和昭(理・数73) 菅井 悟(理・物73) 小岩 利夫(理・物75) 高橋 伯也(理・数74)
 田中 均(理・数76) 並木 正(理・物80) 小林 博(理工・機77) 竹村 精治(理・応数76)
 吉川 知己(理・化81) 中村 信雄(理工・応生80) 松本 明(理・数82)

東京理科大学 理窓教育会
 会長 富岡 康夫(理・化73)
 参与 磯脇 一男(理・数64) 酒匂 昭男(理・化55) 伊藤 操(理・物61) 坂本 功(理・数66)
 理事 小野 具彦(理・化67) 會田 良三(理・化68) 小久保正己(理・数69) 澁谷 重雄(理・数69)
 松原 秀成(理・物70) 齋藤 常男(理・物71) 榎本 成己(理・応物71) 長谷川 純一(理・物73)
 廣瀬 和昭(理・数73) 菅井 悟(理・物73) 小岩 利夫(理・物75) 高橋 伯也(理・数74)
 田中 均(理・数76) 並木 正(理・物80) 小林 博(理工・機77) 竹村 精治(理・応数76)
 吉川 知己(理・化81) 中村 信雄(理工・応生80) 松本 明(理・数82)

東京理科大学 少林寺拳法部OB会
 幹事長 高木 俊知(理工・電70)

I部体育局ハンドボール部OB会 理窓会関連団体 神楽坂会
 会長 猪村 彰(工・建75)

明けましておめでとうございます
 今年もよろしくお願ひします

東京理科大学 こうよう会 (父母会)
 会長 石澤 貴行

東京理科大学 数学教育研究会
 名誉会長 池田 文男(理・数73)
 会長 伊藤 稔(理工・数79)
 副会長 増田 律子(理工・数77)
 副会長 下条 隆史(理・数78)
 副会長 榎 誠司(理工・数81)
 副会長 今井 寛人(理・数75)
 副会長 眞田 克典(理・数81)
 事務局長 清水 克彦(理学部教授)

謹賀新年

東京理科大学ホールディングス株式会社
 代表取締役社長 尾垣 文雄

東京理科大学 インベストメント・マネジメント株式会社
 代表取締役社長 片寄 裕市

東京理科大学アカデミックパートナーズ株式会社
 代表取締役社長 長田 耕一

株式会社TUSダイニング
 代表取締役社長 能元 勇治

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1丁目3番地
 TEL 03(5225)2080

理窓スマッシュ会
 (II部ソフトテニス部OB会)
 会長 常見 達弘(理・化2・91)

東京理科大学 混声合唱団OB会
 会長 濱埜 克巳

東京理科大学柔道部OB会 鷺志会
 会長 柳川 昌徳(理工・建74)
 副会長 久保 正典(理・数78)
 会計監査 田巻 洋一郎(工・建76)
 創部70&創会60実行委員長 望月 哲夫(理・物71)

東京理科大学I部体育局柔道部
 神楽坂顧問 佐々木健夫(理・化学科教授)
 野田顧問 明石 重男(理・情報科学科教授)
 師範 金子 邦男(理科大学元職員)
 総監督 浦井 利秋(理工・建75)
 監督 藤巻 敏光(理工・物81)

鹿島理窓会
 (鹿島建設株式会社東京建築支店)

理窓会倶楽部
 PORTA神楽坂6階
 TUS Alumni Association
 Risoukai Club

全ての卒業生・教職員・こうよう会会員が利用できる、くつろぎと交流の場

運営協力者には、
 飲食の割引、ボトルキーブ、
 同伴者割引等の制度有り。

☆営業日 月～土(祝日除く)
 ☆営業時間 11:00～22:00
 飲食(パーティーも可)
 ☆ランチタイム 11:00～14:30

パーティーなどのご予約、お問合せは
 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階 Tel 03-3269-1570

理窓会 高砂熱学支部
 支部長 三田 暢博

朝日化学工業株式会社
 岡本 公爾(工・工化73)

可能性を創り続ける...
 1919年京都で生まれたダイニクは、創立以来100年をこえる歴史を誇ります。

ダイニク株式会社
 dynic
 東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル
 顧問 坂部 三司(経営工学科74) Tel.03-5402-1811
 ダイニクホームページ…<https://www.dynic.co.jp>

ビル設備のリフォームファクトリー 梶原電工株式会社
 代表取締役 梶原 芳浩

学校法人 京華学園
 文京区白山5-6-6
 常務理事 小林 直樹(理・化70)

東京シリコン株式会社 株式会社 フロロコート 株式会社 トシコ
 川越、名古屋、岡山、新潟、岐阜

代表取締役社長 諏訪部 充弘(経・経00)
 取締役研究部長 後閑 昭男(理・化76)
 名古屋常務取締役 藤野 寛一(工・工化76)

賀正
 鬼武 みゆき
 (理・数87)
 コンポーザー&ピアニスト
<http://www.onitake.com>

御慶
 桂 歌助
 (理・数87)
<http://utasuke.com>

迎春
 祥子
 (理・数90)
<http://www.shoko-crossmusic.com/>

「あなたの会費納入済み状況のお知らせ」ご確認ください

毎号送付の宛名である、皆様の住所・氏名の下段(外からは見えないところ)に下記の様に印字してありますので、必ずご確認ください。

印字例 **会費納入済み年度：2021**

会員住所管理変更のお知らせ

従来理窓会で会員の住所管理をして来ましたが、昨今の個人情報管理の安全性強化のため、東京理科大学校友・父母支援課に管理を移管いたします。それに従って、住所変更届の宛先が変更となります。同封の変更届書類も変更いたしましたので、ご理解いただいて運用にご協力お願いいたします。

『理窓』冊子送付不要の方へのお願い 送付不要のご連絡をください

『理窓』の閲覧を紙の冊子でなく、理窓会HPでの閲覧で十分で、冊子の送付を不要とお考えの皆様へ。送付費用もチリも積もれば山となるの例えの通り、膨大な費用であり、削減にご協力ください。お手間を取らせませんが、下記理窓事務局に送付不要の旨、ご連絡ください。

2020年4月～2021年3月 理窓会主要行事予定

2020年度 理窓会支部長会	2020/ 6/21(日)	神楽坂キャンパス(予定)
2020年度 理窓会代議員総会		
第15回 東京理科大学ホームカミングデー	2020/10/25(日)	
第12回 坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト		
第112回 新年茶話会	2021/ 1/ 9(土)	ホテル メトロポリタンエドモント(予定)

2020年1月～2021年3月 理窓会支部行事予定

支部総会名称	開催日	開催都市	支部総会名称	開催日	開催都市
神奈川 新年賀詞交歓会	1/18(土)	横浜市	青森	7/11(土)	青森市
福島	1/25(土)	郡山市	神奈川	7/18(土)or 8/1(土)	鎌倉か相模原
埼玉 新年会	1/25(土)	大宮市	富山	8/8(土)	富山市
香川	1/26(日)	高松市	愛媛	8/9(日)	松山市
佐賀	2/23(日)	佐賀市	千葉	8/23(日)	千葉市
福井	3/7(土)	福井市	宮城	8/29(土)	仙台市
岐阜	3月予定	岐阜市	東京秋季大会	9/27(日)	新宿区
岡山	5/10(日)	岡山市	秋田	10/17(土)	秋田市
北海道	5/23(土)	札幌市	茨城	10月	
東京	5/24(日)	新宿区	長崎	11/8(日)	佐世保市
埼玉	7/5(日)	川越市	岩手	11/14(土)	盛岡市
京都	7/5(日)	京都市	群馬	11/21(土)	前橋市

名称	開催日	開催都市
アジアフォーラム	2月15日(土)	バンコク

発行者 東京理科大学校友会《理窓会》 | 編集委員会 委員長/近藤明(工・工化1973)
 会長 増淵忠行(理・物1968) | 委員/大岩昭之(工・建1968)、齋藤常男(理・物1971)、前田光男(理・化1981)

理窓会事務局 E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp ホームページ: https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp fb: https://facebook.com/risoukai.tus
 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂7階 Tel:03-3260-0725 Fax:03-3260-4257

表紙写真 上:大岩昭之(工・建1968)、下:近藤明(工・工化1973)